

シャルコー生誕二百年記念座談会〜シャルコーを語る

目次

開会の辞	望月秀樹	v
臨床神経学の創始者 Jean-Martin Charcot	岩田 誠	vii
シャルコーの神経写真学から学ぶ	河村 満	xii
Charcotと先駆者 Duchenne	小長谷正明	xviii
CharcotはSherlock Holmesに影響したか？ ―神経診断学と探偵学―	福武敏夫	xxiv
三浦謹之助とシャルコーの師弟関係	下畑享良	xxx
閉会の辞	山脇健盛	xxxvii

本書は、1994年4月に発行した『シャルコーの世紀 臨床神経学の父 ジャン・マルタン・シャルコー没後百年記念講演会』に、新たに2024年12月23日に開催した座談会「シャルコー生誕二百年記念座談会〜シャルコーを語る」を追加収載し、増補版として発行するものである。

執筆者一覧（掲載順）

望月秀樹

大阪大学大学院医学系研究科神経内科学教授

岩田 誠

メディカルクリニック柿の木坂院長

河村 満

昭和医科大学脳神経内科名誉教授

小長谷正明

国立病院機構鈴鹿病院名誉院長

福武敏夫

亀田メディカルセンター亀田神経センター脳神経内科顧問

下畑享良

岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野教授

山脇健盛

広島中央保健生活協同組合福島生協病院脳神経内科

開会の辞

望月秀樹

二〇二五年に開催される第六十六回日本神経学会学術大会の大会長を拝命いたしました、大阪大学大学院医学系研究科神経内科学の望月秀樹です。大阪大学神経内科学は、来年で三十五年目を迎える比較的若い教室で、開設後今回初めて学術大会を開催することになり、大変光栄に感じております。

二〇二五年は、世界で初めてパリ大学医学部に開設された臨床神経学講座の初代主任教授を務めたジャン・マルタン・シャルコー（一八二五―一八九三年）の生誕から二百年を迎えます。本学術大会では、「シャルコー生誕二百年記念特別展」、「記念特別シンポジウム」などの開催を企画いたしました。記念特別シンポジウムは、岩田誠先生を中心に「歴史セッション」で活躍されている河村満先生、小長谷正明先生、福武敏夫先生のご講演に加え、シャルコーに詳しい下畑享良先生にご講演いただく予定です。岩田先生が神経学の創始者としてのシャルコーについて、河村先生がシャルコーの神経写真学について、小長谷先生がシャルコーと